



第 55 号

2021 年 10 月 29 日



埼玉県合唱連盟

〒330-8557 さいたま市浦和区常盤4-12-13

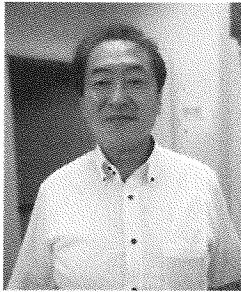
(朝日新聞さいたま総局内)

TEL 048-824-8161

FAX 048-831-5310

<http://saicn.net/>

朝日新聞さいたま総局 山浦正敬総局長に聴く！



このたび朝日新聞さいたま総局長に就任された、山浦正敬総局長にお話をお聴きました。

《子どもの頃はどんな少年でしたか》

福岡県出身です。野球をやっていて西鉄時代最後のライオンズを観に行っていました。その後ライオンズは埼玉に行ってしまい、「ライオンズを返せ」という歌も流行っていましたよ。ピアノを小、中で習っていましたが、当時は男子が習う事は少なく早く辞めたかった。大学は東京に出て工学部の船舶工学という学科で造船を学びました。新聞社を志したのは研究室で実験するより人と会って何かをしたいと感じたからです。父親がNHKの記者でとても楽しそうだったこともあってこの道を選びました。

記者人生は島根県の松江からスタートしました。この地では世の中の仕組みや人とのつながりを知る良い機会でしたね。山形、東京、山梨、千葉、盛岡、名古屋…。何回引っ越ししたか分からず。埼玉は初めてです。

《趣味は》

サッカーの試合を見ています。Jリーグもヨーロッパも。中学校では野球部がなくて、じゃあサッカーチームかなと、そこから興味がありました。埼玉に来てレッズの試合はまだ観ていないです。

《苦労話はありますか？》

事件記者になりたいと思っていました。世の中の歪みが犯罪につながっていると考えていました。警視庁担当時オウムの事件が起きました。地下鉄サリン事件の時は東京にて、帰宅して家に居る時間が一時間、車の移動で仮眠を取っていましたね。そんなことが起るのか！命の危険を感じるような情報を伝えないと感じていました。東日本大震災が発生して2、3週間後現地に行った時、最初避難所では誰にも話を聴けなかった。でも被災した人々はだんだん話してくれましたね。本当はしゃべりたいと思っているんです。記者というのは何を取り材して何を書こうという事が、個人の裁量に任されている世界。自分のやりたいことをやっている（探している）。それでモチベーションを維持することが出来ます。「個人商店主」のようなものですよ！やらされ感はないですね。

《学生時代の輝く想い出》

大学を半年休学してアフリカのケニア、タンザニアにバイクで行きました。就職したら絶対行けないだろうなと。本田技研

の本社に行き、「アフリカに行きたい。旅行記を書くからバイクを一台くれませんか？」とお願いに行つたんです。そうしたら怒られましたね。うちは営利企業で学生の遊びに付き合っていられないって。ところが後日バイク雑誌の撮影用に使用したバイクで良かったら持って行って良いと言われました。横浜からケニアにバイクを輸出、現地駐在の商社マンの助言もあり通関が叶い無事に届きました。ソニーのソーラー・ウォークマンで聴いていたカセットの音楽が、寂しさを紛らわして元気づけてくれました。現地でカセットを買って聴いたら、リズム感がある音楽の方がやはりシックリいきましたね。サバンナの中、道はでこぼこでした。当時お世話になった人にお礼が言えてないのが悔やまれます。この時の教訓は、「まず、自分で飛び込むこと」「やってみなければ始まらない！道は開ける」です。

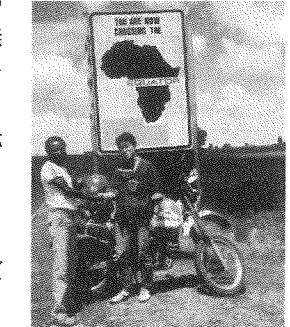
《震災時の話》

震災から3年たった時に岩手県釜石市に赴任しました。文化会館が新しく完成したら、地元のみんなで「第九」を歌いたいと頑張っていました。この地は音楽（合唱）を中心にして人脈が広がっていて、皆で助け合いながら心の復興を作り上げていた。心一つにして声を合わせることで通じ合う交流の深さを感じました。震災6年半後に市民ホールのこけら落としで歌いました。「第九」という歌は人を集めます！みんなで一つの作品を作り上げるところが、合唱の良さだと思います。

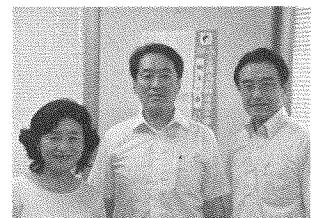
《埼玉の人に対するイメージは》

自分たちの地元や文化を誇りに思って大切にしている人が多いなと感じています。県全体の発信・アピールがなんなく少ないですかね。それぞれの土地には文化があり、外からは見えない部分を大切にしているなど感じています。

～ありがとうございました～



アフリカ(ケニア・タンザニア)バイクの旅



左から 小林副理事長、
山浦総局長、浅子理事

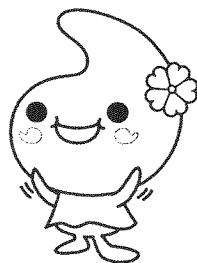
インタビュー：理事 浅子 元

同 席：副理事長／広報委員長 小林とせ子
撮 影：埼玉県合唱連盟



～歌いつなごう！ 2年ぶりの合唱祭～

第 66 回



埼玉県合唱祭



2021年6月5日(土)

6日(日)

12日(土)・13日(日) 彩の国さいたま芸術劇場
さいたま市文化センター

19日(土)

埼玉会館

熊谷文化創造館

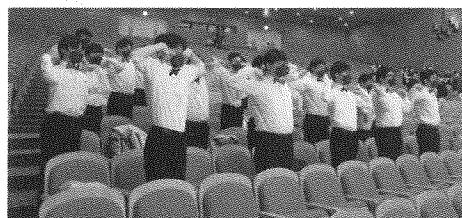
たまりん♪

たまりん♪

令和3年合唱祭会議、私たちは悩みました。いえ、コロナが始まってからずっと悩んでいます。世界中の人がそうであるように。

やるかやらないか。やるならどのように。会議はそこからスタートしました。

まずやる方向に決めました。なぜなら、その1月、SVEC開催に101団体もの申込があったという事実。歌う場所を求めている団がたくさんあるということを受け止めました。も



声を出さないウォーミングアップ

う一つ、女声コーラスフェスティバルをステージ上で歌うのみ、他の団との接触一切なし、

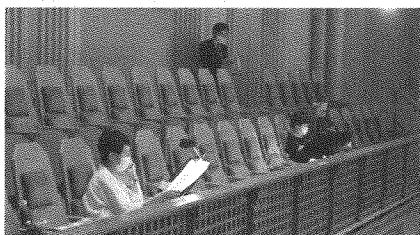
という形で成功

させていたこと。その時の女性たちの笑顔が合唱祭開催の大きな理由になりました。

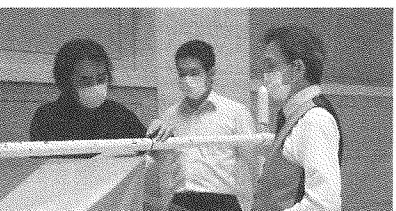
それから実施に向け、隣の人が陽性者でも感染しない、を基準に、考えうる限りの感染対策をしました。その点はほとんどの方にご協力いただけました。一部外れた行為がありましたが…。

そうしてバタバタしたまま迎えた合唱祭、参加84団体、例年の3分の1。緊張感のある団、楽しそうな団、気合たっぷりの団、それぞれです。

でもここに集まった全ての人たちは、練習再開に悩み話し合い、自分と合唱という当たり前だった日常を改めて考え、それでも歌うことを選んだ「同志」でした。合唱祭参加にも勇気が要ったことと思います。私たちはその努力と根性をお互いに称え合い、ステージ上最後のメンバーがはけるまで拍手をしました。ここまで大変だったよね、私たち頑張ったね、

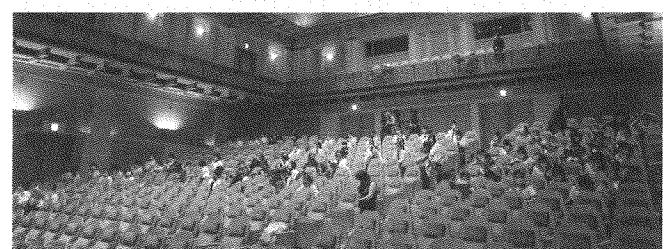


講師からの温かい講評が励みになりました



全員マスク着用で運営しました

撮影：スタッフ・テス(株)



一席ずつ間隔を空けて着席した観客席

の気持ちをこめて。

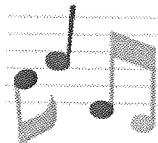
本番前待機の通路、少しにぎやかになりました。すると理事長が小さな声で「このワイワイした感じが合唱祭って感じですよね」と。私は吹き出していました。気づいたら本番前のみなさんのお顔は華やいで晴れがましく、とても楽しそうでした。お互いの「シー」の声さえも弾んでいました。いつの間にか私はガチガチになっていたのだと思います。「楽しい合唱祭」がモットーなのに。この場を作れて良かったと初めて実感しました。「皆が再び歌おうと活動のきっかけを作ってくれてありがとう。」と嬉しいお言葉も頂きました。

残念ながら、県立学校の校外活動が認められることにより多くの高校が不参加となり、我々運営側も混乱しましたが、感染者ゼロで5日間を無事に終えることができました。

これから、どんなに感染対策をしてもどこかの隙に陽性者を出してしまうのではないかという恐怖はしばらく続きます。でも合唱の灯は消さない。

いつか、好きなだけホールに居られてお目当ての演奏を聴いたり、ロビーにはたまりんが歩いていて記念写真を撮ったり、自由参加ステージコーナーがあって、と夢は広がります。涙のあとにも見上げた夜空に希望が光っている事を信じて。

(常務理事 南 めぐみ)



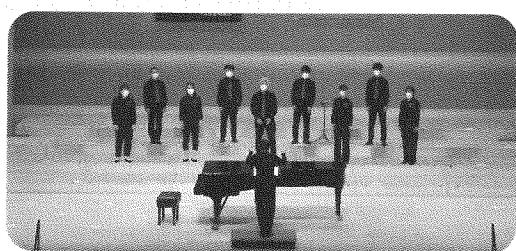
初出場団体紹介



上尾市立上尾中学校コーラス部

部長 番 匠 優 瞳

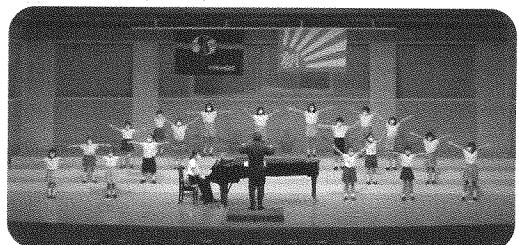
部員13名で初めて出演した合唱祭は、とても緊張しました。でも大きなホールに歌声を響かせ、温かい拍手をいただいたので、とてもいい気持ちになりました。また、合唱を愛する大人の方達の美しい歌声を聴けたことは、今後の活動につながるよい機会になったと実感しています。コロナ禍の中、不安はありますが、これからも合唱を楽しみたいと思います。素敵な時間をありがとうございました。



宮代ジュニアコーラスどんぐり

団長 小学校6年 肥 田 桃 佳

わたしたちは、創立3年目で合唱祭に参加しました。始めは少なかった団員も徐々に増え、合唱祭に出られるまでになりました。コロナ禍で初参加が1年延びて、思うような練習ができない日が続きましたが、素晴らしいホールで歌えることがとても嬉しかったです。歌う前は緊張していましたが、歌い始めてからみんなの声がハモリ、練習の成果を発揮することができました。みんなでうまく歌えたことを喜び合いました。また次に向けて頑張りたいです。



グランシエル

代表 江 口 稔 朗

混声合唱の音色を体験したいと仲間が集まり、一昨年発足いたしました。価値観を共有する事でまた新しい絆が生まれ、県合唱連盟での発表の場もいただき、合唱団として一步を踏み出せました。昨年来のコロナ蔓延により一時は休止状態でしたが、巣籠り解禁後練習を再開し今回の初出場となりました。

年齢的に後ろから何かヒタヒタとやって来ている私達ですが、歌のない人生は考えられません。これからも合唱祭参加を目標にこの仲間達と共に歌って行きます。



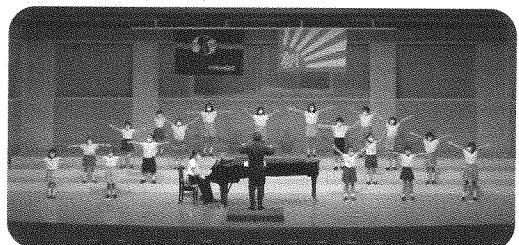
撮影：スタッフ・テス株

Sparkling a Live !

団長 大 石 瑠 璃

初めて参加させていただいた今年の埼玉県合唱祭は、例年とは形の違うものでした。客席にいらっしゃるのは、同プロックの出演団体と、講師の先生方のみ。その分とても温かな雰囲気の中で、「仲間と集って歌う幸せ」を嗜みしみながら演奏いたしました。また、この空間を他団体の皆さんと共有できることも幸せに思いました。

この日感じた幸せを礎として、魅力的な団に成長していきたいと思います。これからも宜しくお願ひいたします！



Chorus Stellaria

責任者 橋 本 哲 也

Chorus Stellariaは、埼玉県合唱祭にこの度初めて参加させて頂きました。久しぶりのステージでは、「歌うことは楽しい」というプリミティブな感情を、改めてメンバーと共有することができました。厳しい状況のなか、我々に歌う場所を提供してくださった連盟の皆様には、深く感謝申し上げます。

先行き不安な日々が続きますが、私達は私達にできることを続けていきたいと思います。益は…もう少し我慢いたします。





久しぶりのホール演奏、歌声響け！

彩の国女声コーラスフェスティバル2021

2021年5月2日(日) 和光市民文化センター サンアゼリア

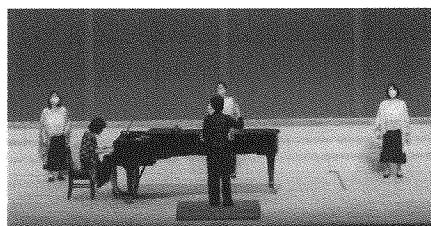


ママりん♪

昨年のおかあさんコーラス大会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、県大会から支部・全国大会まで全て中止となりました。今年こそはと第44回埼玉県大会を本年3月6日・7日の日程で、会場も例年通りの和光市民文化センターで開催すべく準備を進めて参りました。

しかしながら、コロナ感染急拡大に伴う緊急事態宣言発出のため、全日本合唱連盟より、各県大会は4月末以降へ開催延期するよう指示がありました。これにより、埼玉県としては日程を5月2日に延期をし、再度開催内容を練り直し進めておりましたが、4月の段階で3度目の緊急事態宣言の発出になり、再び全日本合唱連盟から、各県大会は全て6月以降に開催を再々延期する旨の指示を受けました。この指示は、もし6月以前に開催する場合は、おかあさんコーラス大会名称の使用禁止、及び各支部大会への選考推薦も禁止という措置であった為、種々検討した結果、埼玉県としては5月2日の日程と会場は変更せず、大会の名称を変更し、「彩の国女声コーラスフェスティバル2021」として開催するという苦渋の決断をいたしました（その後、各県大会・支部大会は全て中止となりました）。

「彩の国女声コーラスフェスティバル2021」では、コロナ感染症対策を万全とする為、マスク着用とステージ上距離確保での演奏、客席は無観客とし、講師3氏（木下牧子、三宅悠太、横山潤子の各氏）の講評を頂くだけで、演奏終了後は、そのまま退場・退館するという形を取らせて頂きました。大変なご不便をお掛けし誠に申し訳ありませんでした。



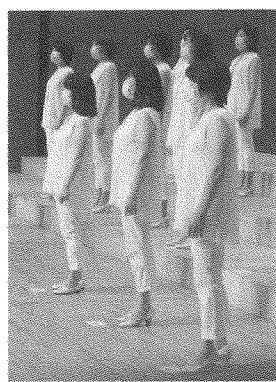
こうして何とか2年ぶりの開催になりましたが、出演23団体による演奏は、こうした大変厳しい条件にも関わらず、皆様よく工夫されて非常に感動的な熱演が多かったように思いました。

来年こそは、例年通りの開催ができる事を祈りつつ、令和4年3月5日・6日、同じ和光市開催を予定しています。また多くのおかあさん各団体、皆様の参加をお待ちしております。



なお、関東支部大会中止に伴い、各県からの推薦選考は音源審査（7月3日・4日実施）に切り替わりました。埼玉県からは、6月1日の抽選会（WEB配信）にて13団体を推薦しました。結果、8月開催の全国大会へは残念ながら当県からの推薦団体はありませんでした（7月30日に全国大会中止が発表されました）。

（おかあさん担当常務理事 須田 信男）



撮影：スタッフ・テス(株)

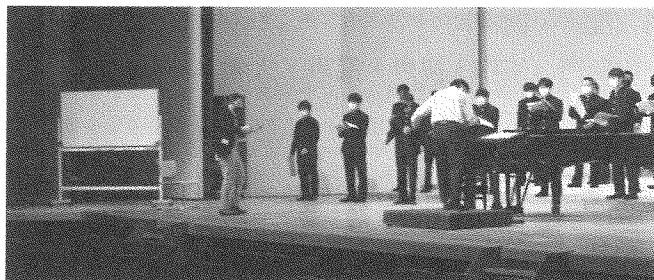


温かいご指導、日々の練習成果演奏

SAITAMAコーラスワークショップ2021

～コンクール課題曲講習～

2021年7月24日(土) 於：さいたま市文化センター



福永 一博先生の講座



金田 典子先生の講座

「SAITAMAコーラスワークショップ2021」が今年は7月24日(土)に、さいたま市文化センターの大・小ホールにて開催されました。昨年度中止せざるを得なかったワークショップですが、今年は2年ぶりの開催にこぎつけ、受講・聴講合わせて700名を超える参加者が集いました。

コロナ禍のもとでの開催を可能にしたものは多くの方の「ご理解」です。まずは講師の先生方のご理解です。小学校部門の金田典子先生は連盟理事のお仲間ですが、NHKの音楽番組でも御馴染みの実力者。中学校部門は武田雅博先生。日本の合唱界を牽引する合唱指揮者・指導者でいらっしゃる。高校・一般部門は名島啓太先生。一流の指揮者として、そして魅力的な合唱作品を発信する作曲家としても幅広く活躍なさっています。もう1名は日本合唱界の新星として、その活躍は世界レヴェルの福永一博先生。

これら一流の講師の先生方全員が口になさったのが「困難な状況のなか、感染対策を万全にしつつ合唱活動ができる喜び」でした。先生方にとっても感染リスクが0（ゼロ）ではない中、「開催できて本当に良かった」と笑顔で会場を後にされる先生方の深いご理解に強い感謝の念を禁じえませんでした。

そして、様々な困難を乗り越え、参加してくださった受講・聴講者の皆様のご理解です。更には、児童・生徒さんたちの

参加を許してくださった保護者の皆様のご理解。多くのご理解に支えられて、無事に幕を下ろしたワークショップでございました。

その理解の深さは、ワークショップの学びの深さと比例していたようです。舞台上で演奏受講された皆さんの中の集中力の高さはもちろん、客席で聴講される皆さんのが々楽譜に書き込みをしたり、熱心にノートに指導内容を書き留めている姿が印象的でした。やはり、昨年度の多く合唱行事が中止を余儀なくされ、合唱を愛する皆さんの音楽的欲求が満たされない状況が続いていた中で開催されたワークショップは、その渴望を満たすに充分な学びが得られ、豊かな経験になったのだと思います。惜しむらくは「参加を希望していても、この状況がそれを許さなかった」と悔しさを滲ませる方が多かったこと。一日も早いコロナ禍の収束が待たれます。

一昨年と今年はコンクール課題曲に特化した講習内容となりましたが、参加者の満足度の高さから来年度以降も継続していくことを考えております。しかし、合唱活動はコンクールに限定されるものではありません。コンクールとは違う学びをワークショップという形式で実施してほしいというご意見も多くございますので、その開催内容については鋭意検討中でございます。来年度のワークショップにご期待ください。

(常務理事 佐々木憲二)



名島 啓太先生の講座



武田 雅博先生の講座

撮影：埼玉県合唱連盟



演奏・運営とともに緊張と感動の3日間、終了しました

第 64 回

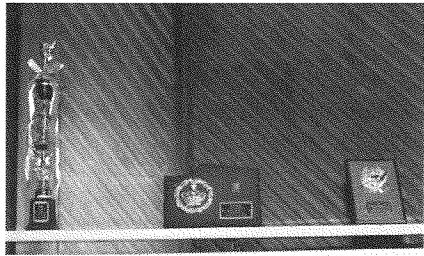
埼玉県合唱コンクール

2021年8月21日(土) 高等学校部門

22日(日) 小学校部門・中学校部門(混声・同声)

29日(日) 彩の国部門・大学職場一般部門(室内・同声・混声・大学ユース)

於: さいたま市文化センター

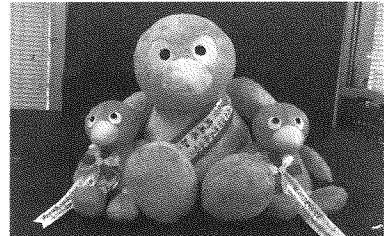


の大学職場一般部門と3日間にわたり、さいたま市文化センターで開催されました。3日間の参加団体数は小学校部門1、中学校部門(混声)9、(同声)19、高等学校部門34、彩の国部門14、大学職場一般部門(室内)シード1含め8、(同声)4、(混声)4、(大学ユース)4となりました。コロナ禍で行われたコンクールとあって参加団体数は大きく減ってしまう形となりました。

また、入場者は保護者、関係者のみとし、座席を一つずつ空け全席指定で行いました。コロナ禍でも合唱の灯を絶やしてはならないと色々な工夫や感染対策を講じ今までにないコンクールとなりました。

第64回埼玉県合唱コンクールは、8月21日(土)高等学校部門、22日(日)小学校・中学校部門(混声・同声)、29日(日)彩

まず、大きく変わったことは、参加人数の多い中学校部門、高等学校部門のソーシャルディスタンス確保のために今まで4段だったひな壇を6段にし、より広くステージを使えるようにしたことです。そして急遽、出演が叶わなくなってしまった団のために録音での参加を可能とし、会場で演奏する団体と録音で参加する団体が両立する「併用方式」でコンクールが行われました。



また、出演者はマスクをつけていただき、歌い終わったらすぐに帰宅していただきました。本来でしたら「マスク無しで歌いたい!」「他の団体も聴きたい!」と思うところを、ご協力いただき感謝申し上げます。

異例尽くしのコンクールではありましたが、ホールに鳴り響く歌声は何にも代え難いものだと改めて実感しました。このコンクールを迎えるにあたり様々な困難があ

ったと思います。それを1つ1つ乗り越えて、合唱の灯を皆様がつないでくださいました。

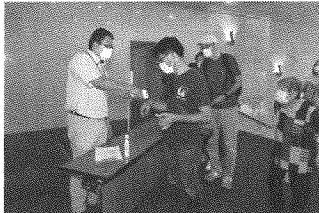
先の見えない状況が続いているますが、来年度も素敵な歌声が鳴り響く素晴らしい大会になりますよう、埼玉県合唱連盟一同頑張って参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(常務理事 松川 大)

感染対策を行いながら開催しました



マスク着用での合唱



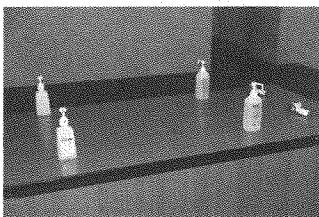
来場者全員の検温



万が一のため連絡先を記入していただきました



鉛筆も消毒済み



受付にはアルコール消毒を常設

撮影:スタッフ・テス株



先生！お話し聞かせてください

大島 博先生へのインタビュー

佐々木) 大島先生は声楽家、指導者として活躍していらっしゃいます。そして初めて埼玉県合唱コンクールに関わってくださいました。先生が私たちの演奏を審査される際の観点・基準を教えていただけますか？

大島先生（以下敬称略）

重要なのは「詩があって、そこから音楽が生まれる」ということです。

その団体が、しっかりとテキストと向き合い、聴衆に詩の持つメッセージを伝えられているか？を聴きます。

具体的に言えば

- メロディに乗せて詩を音楽的に語ることができているか？
- メッセージを伝えるための声の響き、発声は適切か？
- テキストをどのようなフレーズ感・ニュアンスで歌っているか？

• 伝えるための明確な発音・発語がなされているか？

審査基準というよりも、私が音楽と向き合う時に最も大事にしていることです。

佐々木) ともすると私たちは、良い発声を最重要視しがちです。

大島) それに関して言えば「音符を歌っている」という演奏に出会うことが多いと感じています。

演奏者はその楽曲に慣れているので、音・音符を歌っていても自分の中では再構成されて音楽の流れは生まれてくると思うのですが、その曲を初めて聴く私（聴衆）にとっては、「音楽がどのようなまとまりを持っていて」「どこに音楽的・詩的な力点がある」「言葉がもつ意味合いがどのように表現されているのか？」「どのようなニュアンスでその言葉が歌われ語られているのか？」が重要です。

これらは最終的に「この演奏者（団体）は何を伝え、何を表現したいのか？」ということに繋がってきますし、私はそこに一番関心を持って聴いています。

佐々木) 美しく正しい発声は、あくまで手段ということですね。

大島) その声がその曲に相応しいかどうか？が大切ですね。美しい声だけでは表現が上滑りしてしまう危険性をはらんでいると思います。

その曲に相応しい「声」「響き」「表現」をどのように突き詰めているのか？音楽においては、そこが最も重要なことではないでしょうか？これらを可能にする「土台」としての声がある。美しい声・響きを作る目的は何なのか？を考えたいですね。

佐々木) 音楽的に難しい本質的な宿題をいたいたいたように思います。

大島) 勿論、今申し上げたことは全ての音楽家にとっての永遠の課題です。完成することがないのが音楽ですから。しかし、それをを目指していくないと更なる音楽の高みが見えてこないのでしょうか？音楽の核心は「何かを訴える」こと。その根本的な気持ちが大事だと思います。

佐々木) 3日間にわたるご審査、誠にありがとうございました。

名島 啓太先生へのインタビュー

佐々木) コンクールについてのご感想をお聞かせいただけますか？

名島先生（以下敬称略）

演奏された全ての団体がマスクを着用されていましたが、それが全く気にならなかった。それは皆さんの演奏に「舞台で歌える喜び」があふれ、マスクを越えて音楽が客席に届いていたからだと思います。

一方、棄権された団体、録音審査を選択された団体もありましたが、皆さん舞台で歌いたかったらどう思うと胸が痛みます。

佐々木) 次にご審査における観点を教えていただけますか？

名島) 難しいご質問ですが、その作品の魅力・世界観が聴衆に伝わっているかどうかを重要視しているような気がします。それはいわば「総合感銘度」という言葉に近いかもしれません。

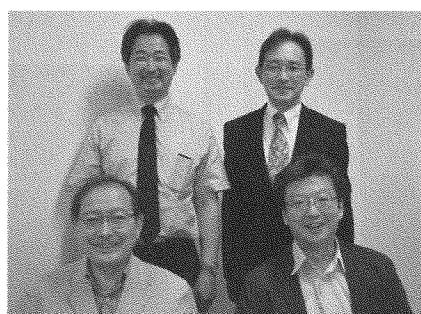
佐々木) 「総合感銘度」を詳しく解説していただけますか？

名島) 演奏においては良い声、美しいハーモニー等が大切なのはもちろんですが、各部分の良さが相互に関連しないことは考えられません。そこで重要なのが「構成」という要素です。例えば課題曲「うたをうたうのはわすれても」は冒頭主題が変化しつつ4回でてくる。最初の主題の提示と2~4回目で何が違ってくるのかを聴きたい。その変化をきっかけに表現へ踏み込むことができます。そういう必然を感じる「変化」がある演奏を評価している気がします。それはモーツアルトの交響曲と何ら変わらず、第一主題の性質が「快活」で第二主題が「落ち着き」だとすれば、それが展開部や再現部でそれぞれがどのように変化するか。それが作品の「面白さ」であり、それが聴衆に「魅力」として伝わるかどうか、演奏者はそれを大切にしたいと思うのです。そういう曲の構成を考えずに感覚的な演奏に終始すると、自分たちの頑張りのほうが作品の内容や魅力よりも前に出てきてしまうことがあるように思います。

佐々木) 作曲家でもいらっしゃる名島先生の「構成」という観点。勉強になります。最後にコロナ禍の活動について何かございますか？

名島) 感染症対策は絶対に必要なことです。そして最も大事なことは、指導者、指揮者、団員が皆「ここまで対策をしていれば大丈夫だ」という強い確信を持つことだと思います。換気、消毒、マスク、ソーシャルディスタンス、体調管理等。「これで本当に大丈夫なのかな？」という疑念を持ちながらの活動は避けるべきでしょう。

佐々木) ありがとうございました。



左上から 佐々木常務理事、小野瀬理事長、
左下から 大島先生、名島先生



インタビュー：常務理事 佐々木憲二
撮影：埼玉県合唱連盟



第 76 回

関東合唱コンクール



2021年 9月18日(土) 高等学校部門A・Bグループ

19日(日) 中学校部門 同声・混声

於: 埼玉県／さいたま市文化センター

10月10日(日) 大学職場一般部門

於: 山梨県／YCC県民文化ホール

全日本合唱連盟関東支部
松原眞介支部長

9月18日、19日の2日間、緊急事態宣言下ではありましたが、感染拡大防止への徹底した対策の中、さいたま市文化センターで高等学校、中学校部門が行われました。

県連理事と係員の皆様のご協力のもと、リハーサル時間を確保するなど、出演者にはコンディション良く本番へ向かっていただくとともに、保護者の方を中心に、生で演奏を聴いていただく体制をもつくることができました。ご協力いただいた皆様には心から御礼申し上げます。

さて当日は、やむなく音源で出演された合唱団もありましたが、高等学校・中学校ともに、それぞれ県代表として立派な演奏をしていただきました。



審査の結果、松山女子高校、叡明高校、星野高校の3校が見事全国大会出場を決められ、合わせて松山女子高校は支部長賞（高等学校部門1位）を受賞されました。

コロナ禍という大変厳しく苦しい環境の中で練習を重ね、ご出演いただいた各合唱団に心から敬意を表するとともに、代表となられた皆様には全国大会での更なるご活躍を期待しております。

(副理事長 國弘 雅也)

撮影：(株)フォトライフ

第76回関東合唱コンクール審査結果

★高等学校部門Aグループ

【金賞】県立川越高校音楽部

★高等学校部門Bグループ

【金賞】県立松山女子高校音楽部（全日本理事長賞・支部長賞）、叡明高校合唱部、星野高校音楽部、
埼玉栄高校コーラス部

【銀賞】県立大宮高校音楽部、県立川越女子高校音楽部

【銅賞】県立大宮光陵高校合唱団

★中学校部門 同声合唱の部

【金賞】所沢市立狭山ヶ丘中学校合唱部

【銀賞】深谷市立幡羅中学校音楽部、川口市立西中学校音楽部、横瀬町立横瀬中学校音楽部

【銅賞】所沢市立向陽中学校コーラス部

★中学校部門 混声合唱の部

【銀賞】所沢市立所沢中学校

【銅賞】春日部市立豊春中学校混声合唱団

★大学職場一般部門 大学ユース合唱の部

【金賞】Ensemble SAKAE

★大学職場一般部門 室内合唱の部

【金賞】La Mer、CLARA

★大学職場一般部門 同声合唱の部

【金賞】男声合唱団 APERTASS

★大学職場一般部門 混声合唱の部

【金賞】scatola di voce

【銀賞】Chorus Stellaria

下線の団体は、全国大会出場



歌う楽しさ、喜びの思いをこれからも持ち続けて… リモート合唱「日々あたらしく」初演

2021年4月29日（木・祝） 於：ソニックシティ

小野瀬理事長の「コンクール等の出演機会を失った学生のために何かできないか」という熱い思いのもとに始動した、「リモート合唱」で新曲初演！」企画は、予定通り令和3年4月29日埼玉県合唱連盟総会にて完成動画を公開し、無事に成功を収めることができましたことをご報告いたします。

作曲家の土田豊貴先生は、コロナ禍に打ち勝つエネルギーを持ちつつも、「今までのような平穏な日々を希求したい」との想いで新川和江さんの「日々あたらしく」に作曲なさったと語ってくださいました。その想いのもとに集まった動画及び音声データは57点！ 総勢221名の方々にご参加いただきましたことを連盟一同大変嬉しく思っております。

また、今回の企画が連盟の財政状況を圧迫してはならないとの考えで立ち上げたクラウドファンディングでは、多くの皆様のご協力により15日間で目標額の30万円に達し、最終日の4月末日には137%の達成ができました。あらためて埼玉県合唱連盟は多くの皆様に支えられていることを実感いたしました。この場を借りましてあらためて御礼申し上げます。

今回の企画に参加してくださった「男声合唱団APERTASS」の団員にインタビューさせていただくことができました。

「僕は実際に高校3年生の最後のコンクールが中止になってしまいました。こういった機会を作ってくれて嬉しいです。」と語ってくださったのは大学1年生の上野さん。「今でも合同練習や演奏会をやることが難しい。そんな中、出来上がった動画を見たときに他団の方々と一緒に同じ作品を演奏していることに喜びを感じました。」ともお話くださいました。

もう一人お話を伺った中山さんは、「曲の中盤、〈おはよう〉の声が重なって盛り上がりっていくところは歌っていてとても気持ちが良かったです。曲想が明るく晴れ上がりしていく雰囲気は企画の趣旨ともマッチしていると感じました。」と語ってくれました。

お二人から温かいコメントをいただき、あらためてこの企画・運営に関わることができて良かったと個人的にも大変嬉しく感じさせていただきました。

連盟では今後、土田先生に作曲していただいた「日々あたらしく」を連盟歌のように大切に扱っていきたいと考えております。合唱祭等の場で皆さんと一緒にこの曲を演奏できる日を楽しみにしております。（事務局次長 南方 隼紀）





役員改選にあたって



埼玉県合唱連盟では2年ごとに役員改選を行っており、この度もその時期となっていました。例年、理事は退任する方と同数の方に入りて戴き33人体制を維持しておりましたが、昨年からのコロナ禍の影響で状況も変わり、特に財政面が厳しくなりました。そこで、経費の削減も考慮して今回の改選では人数を調整し、28人体制をとることといたしました。しかし、その中でも世代・地区・合唱のカテゴリーなどはできる限りバランスをとっています。

削減した分、皆様方にはご不便をおかけする事があるかもしれません、今後も常に最善の方法で合唱活動ができるように努めてまいりますので、ご理解ご協力を賜わりたく、宜しくお願ひ申し上げます。

(理事長 小野瀬 照夫)

退任役員あいさつ ~お世話になりました~



浅井 一郎（元副理事長）

理事は、恩師の小高秀一先生のお声掛けもあり、教員2年目の昭和60年4月より18期、36年間お世話になりました。ここ12年は副理事長として、6年は関東支部運営委員としても関わせていただきました。この間、初代理事長の尾花先生、田尻先生、小高先生、宮寺先生、北川先生、現理事長小野瀬先生と6代の理事長にお仕えすることができました。教員人生のほとんどを合唱連盟と共に過ごせ、運営に携わることにより合唱をより深く、そして沢山のことを学ばせていただけたことに、心より深く感謝いたしております。初任の川口工業高校から、川越高校、行田進修館高校、現在の不動岡高校と、生徒と共に運営を手伝えたことも嬉しいことでした。平成3年夏、おとうさんコーラスの始まりには常務理事として、川越の鏡山酒造に樽酒の協賛をお願いしたこと、懐かしい思い出です。また運営面では、演奏係として合唱祭やコンクール等の進行に携われ、ステージ袖でたくさんの合唱団の皆様との触れ合えたことも、ありがとうございました。

これまで大変お世話になり、どうもありがとうございました。今後は顧問として関わせていただきます。最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を、そして小野瀬理事長のもと埼玉県合唱連盟の益々のご発展をお祈りいたし、退任の挨拶とさせていただきます。



大館 直美（元常務理事）

理事・常務理事16年間お世話になりました。

ステージで輝く合唱団の皆さんのお演奏を聴くのが本当に幸せでした。

合唱の素晴らしさ、そして、人との交流の感動等合唱連盟での経験は私の人生の宝ものとなっています。これまで支えていただいた方々に深く感謝いたします。これから合唱連盟の発展と会員皆さまのご活躍ご多幸をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

小島 嘉子（元副理事長）

走馬灯のように巡る合唱連盟

正月三が日が明けるや否や、SVEC開催の会場予約抽選のため埼玉会館に駆けつける。しかし抽選に外れ、その足で久喜文化会館に直行。…コンクール開催中、連盟に一通の電話、バスで会場に向かう途中で渋滞にはまり、出演時刻に間に合わないとのこと、さて出演順はどうなる？…参加者の多い合唱祭。参加団体の数だけ事情がある。この日希望、あの日の午後しか出られない、複数の団に関わる指揮者や伴奏者は順番をあけてあげたい。ああでもないこうでもないと演奏順決めの会議はすっかり夜も更け気がつけば午前様！…大会中の急な発熱、怪我への対応準備。時には極度の緊張感で過呼吸になる女子高生。…コンクールの審査員の先生方にはとりわけ細心のおもてなしを。公平に、慎重に点数や講評をいただくために、ご不快な思いをもたれないように。…事務局の電話やメールはひっきりなしに稼働。その度に担当理事に連絡、相談。このままじゃ解決しないとなると事務局長、常務理事、副理事長、理事長へと電光石火のごとく連絡相談が駆け巡り、誠心誠意の解決策。…

14年間、様々な出会いがありました。無我夢中でしたが、その度に新鮮な発見や理事が一丸となって動くことの充足感がありました。加盟しておられる全ての方々が合唱をしていて良かった、ずっと歌い続けたいと思っていただけるように、これまでこれからも埼玉県合唱連盟は進化、発展していきます。ありがとうございました。

関根 盛純（元事務局次長）

4期8年間、最後2年間は事務局次長兼事務局員としてお世話になりました。指揮者でも教育者でもない、単なる合唱好きな凡人にもかかわらず受け入れていただいた連盟には、心から深く感謝いたします。

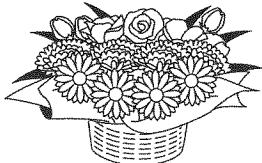
裏方として携わり合唱の素晴らしさを心底体感できた事、コロナ禍で取り組んだリモート合唱やWEB合唱祭、クラウドファンディングが思い出深いです。今後は一介の身ながら真摯に連盟を応援していくつもりです。ありがとうございました。

**岩崎 祐子（元理事）**

4 年間、連盟の活動に携わるなかで多くの方々にお世話になりました、様々なことを学ばせていただきました。本当にありがとうございました。

相澤直人作曲・さくらももこ作詞の合唱曲『ぜんぶ』は「普段は気にも留めない、あたりまえだと思っていることは実はとても大切なことなのだ」と気付かせてくれます。

この『Pause』第55号が皆様のお手元に届く頃には、あたりまえに歌える日常が少しでも戻っていますようにと心から願っています。

**北添 郁朗（元理事）**

お世話になりました。コロナ禍の大変な時期にお役に立たず、理事を退任することになりました大変申し訳なく思っております。連盟のお仕事を通して多くのことを学ぶ機会をいただいたことに感謝しております。

私は日頃、中学校教員として働かせていただいているが、音楽の教師は各学校に1人しかいませんので、多くの先生方と音楽について語り合ったことは大変貴重な体験でした。また、連盟の行事「合唱祭」で係のお仕事を一緒にさせていたいたい各合唱団の方々との出会いは、新たな音楽との出会いのきっかけになり、今でも私の宝物となっております。本当に有難うございました。

今後とも、連盟と会員の皆様のご健勝をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

永井 基生（元理事）

在任中は、大変お世話になりました。ありがとうございました。合唱祭やコンクール等に出演し、忘れられない感動の舞台を何度も経験させていただきました。その舞台を準備してくださる連盟への感謝の思いから、2年間、理事を務めさせていただきました。仕事や家庭等、多忙な中、合唱界発展のために働く理事の方々の熱い思いに触れられたことが、一番の思い出です。今後は「一合唱人」として、微力ながら尽力してまいります。

持田 みどり（元理事）

各合唱団そして合唱連盟運営に携わる皆様、10年間大変お世話になりました。体調を崩してから自身の体力低下を痛感しまして退任を決めました事を残念に思っております。合唱祭を始め様々な活動を通じて生まれた皆様との絆をこれからも大切にしていきたいと思います。コロナ禍の厳しい状況下でのリモートの試みや若い世代へのサポート等々、合唱連盟が一丸となって取り組まれた事に心より敬意を表し感謝申し上げます。

新任役員あいさつ～新たなチャレンジ～**理事 梶本 瞳**

この度理事に就任いたしました、浦和第一女子高等学校の梶本です。

微力ではございますが、合唱連盟の改革と発展、並びに会員の皆さまのお力になれるよう努力して参りますので、どうぞ宜しくお願ひいたします。

**理事 築部 真美子**

Coronaとは、元々ラテン語で「王冠」を意味しています。此の合唱不遇の時期こそ、合唱を愛する皆様の心に「歌の王冠」を掲げる事を忘れてはいけません！そんな皆様のお手伝いが出来たらと思っています。つくべと申します。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

**埼玉県合唱連盟 令和3年度賛助会員募集のお願い**

本連盟の活動方針に賛同し、活動を援助していただく方を広く求めています。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により本連盟の経済状態が逼迫する中、20名・6団体の方より合計306,000円のご援助をいただきました。

この財政状況が今後も続くと思われますので、皆さまのご協力を切にお願いいたします。

◎対象：加盟・非加盟を問わず20歳以上の方

◎1口：1,000円（2口以上）

入場券などの特典がございます。

お問い合わせは、埼玉県合唱連盟事務局（TEL048-824-8161
水・金10時～16時）または、連盟ホームページ内【埼玉県合唱連盟
賛助会員募集】バナーから詳細をご覧いただけます。

ご支援、ご協力を
お願いします！



たまりん♪



♪私たちの場所

Stage



みを 女声合唱団水脈

団長 岡安千恵子

私達は1986年幸手女声コーラスに山根先生を指揮者に迎え、幸手女声合唱団を経て2003年に現在の女声合唱団水脈に改称しました。宗教曲から組曲、国内外のポップスなど幅広いレパートリーを歌ってきました。

2019年10月、第10回記念演奏会を無事に終えることが出来ました。私達の歌の歴史を辿る演奏会となりました。いつかまた次回も！

新型コロナの影響で世界は劇的に変わりました。緊急事態宣言中は休止するなど無理のない練習をしています。昨年12月には団内でミニコンサートを実施し、久しぶりに一人一人が歌と向き合い歌の持つ力を感じました。早く平穏な日々の来ることを願い、私達も前向きに進んで行きたいと思います。

蕨高校音楽部

64期生部長 根本 愛

私たち音楽部は学年問わず仲が良く、制限下の練習にも臨機応変に対応できています。昨年中止された行事も、運営の皆様と合唱に関わる方々の努力で徐々にできるようになりました。現在は合唱コンクールに向けて、南方隼紀先生ご指導のもと真摯に練習に励んでいます。新しい生活様式での練習は苦労も伴いましたが、個々が合唱と向き合い集団の中での役割を自覚すると共に、平凡だった活動は様々な支援による有り難い活動なのだと認識できました。令和4年3月26日(土)には彩の国さいたま芸術劇場音楽ホールで第33回定期演奏会を行います。今後も合唱を通して、自分たちが得た感動を聴いてくださる方にもお届けできるよう、精進して参ります。



埼玉県合唱連盟公式

Twitter  Facebook 

編	集
後	記

Pause55号をお届けいたします。コロナ禍の中でも開催できた合唱祭、コーラスワークショップ、合唱コンクールの報告などと、新たに就任された朝日新聞さいたま総局山浦正敬総局長のインタビューと盛りだくさんの内容です。今後も皆様の豊かな合唱ライフをお手伝いします。
(理事 浅子 元)



体感すまいパーク東浦和

夢をふくらませる、ご予約を。



2021.9.21(火)～11.20(土)

ポラス株式会社 埼玉県越谷市南越谷1-21-2 TEL048-989-9119
ポラスの展示場への来場は、混雑を避けるために事前予約制となっています。詳しくはWEBサイトをご確認ください。

住まい価値創造企業

POLUS
ポラスグループ

